

スクーリングと修学旅行

今年度は9名の子どもがサポート校シオン学苑に在籍しています。

子ども達はレポートを期限内に提出すると共に、月に一回程度のスクーリングを行っています。



8月1日から2日には、スクーリングを兼ねた修学旅行へ行ってきました。かみすわ山荘では、野外でまきとお金を使い、ご飯を炊き、おかずをつくりました。家庭科調理実習です。



今年度は、(有)レジャークリエイト様の協賛により修学旅行を行いました。

(右写真)小平記念館
日立制作所の創業者である小平浪平氏の創業の理念を学びました。

(下写真)バーベキューの様子
別のホームの子ども達も参加していましたが、こんな時は協力し合い、すぐにうちとける事ができました。

BBS会のともだち活動

筑波大学広域BBS会の学生会員が中心となり、ホームの子どもたちと同じ目の高さに立ち、「ともだち活動」をしてくださっています。学習指導も家庭教師的ではなく、「ともだち」としてふれあい、勉強を教えてください。



(右写真)のらっくす農園トラスト：茨城県BBS連盟が「ともだち活動」の一環で、のらっくす農園と栽培契約をします。10月には、ホームの子ども達もBBS会員と無農薬野菜を収穫しました。その野菜を使い、つくばマラソン大会で「うどん」の販売をします。

(下写真)茨城県BBS連盟が主催する、心理教育的介入プログラムCARE-Japanワークショップの研修：当法人の職員、水野と江尻が講師として参加しました。



寄付物品

当法人では、毎年700kgほどのお米を消費します。稲敷地区更生保護女性会の働きかけで、今年も十分な量のお米を確保することができました。



土浦地区更生保護女性会の皆様より頂いた生活用品



のらっくす農園様より頂いた野菜類



立正佼成会の教会員様より頂いたジャガイモ

シオンだより 下半期号

下半期号
平成30年11月発行
認定NPO法人青少年の自立を支える会シオン

法人あいさつ



理事長 水野 洋

小春日和の好季、ますます皆様清祥のこととお慶び申し上げます。また、日ごろは大変お世話になっております。

おかげさまで、当法人は平成30年4月1日、福島県郡山市にて3つ目の児童福祉施設である自立援助ホーム「あい」を開所するに至りました。そこでは、少しずつですが入居者が増え、10月現在には4名の子ども達が自立のために生活をしています。

さて、自立援助ホームは、事業収入だけでは財政基盤が安定しないため、寄付金や助成金集めに時間を費やします。社会的ニーズがあるにも関わらず、その必要性とホーム運営の現状には開きがあるのです。当法人も例外ではありません。昨年度は645万円の寄付金、助成金、そして補助金を集めたにもかかわらず、収支は56,959円のプラスでした。ホームの運営も8年が過ぎ、中堅職員が増えたことが一因です。正直、うれしい悲鳴です。一方、経験を積み実力をつける彼らに、しっかりと安定した生活をしてもらいたい。それには今以上に寄付集めをしなければならないという思いもあります。会員の皆さまには、これからもご理解とさまざまな援助をして頂きたいと思っております。ご家庭であまっている物品等がございましたら、その時はどうぞよろしくお願いいたします。

ステップハウス

当法人から、徒歩3分のところに「ステップハウス」を開所しました。

目的は、低所得者や生活困窮者、モラトリアム人間に対し、住居の提供及び生活支援等を行い、社会に寄与することです。

入居者募集

- 対象者は、次の通りです。
1. 自立援助ホーム等を退所する青少年のうち、すぐに一人暮らしをするには、不安がある者(アフターケア)
 2. 一人暮らしを始めたが、会社の倒産や解雇等の理由により住居を失った青年(就活・就労継続支援)
 3. 成人でありながら、精神的に発達途上にあるため、大人社会に同化できずにいる青少年(モラトリアム支援)



- 利用料金
1. 3万円
 2. 0円～
 3. 3万円～9万円



詳しくはホームページで
www.npo-zion.jp/

更生保護女性会

貴連盟からは、毎年多額の寄付を頂きいております。この場を借りて御礼申し上げます。さらに今年度は、土浦市更生保護女性会からも寄付を頂きました。「子どもたちの自立支援基金」として、ありがたく使わせて頂きます。未来を担う子ども達にこそ貢献したい、という貴連盟の理念のもと、このような活動に光を当てて下さりありがとうございます。子ども達が、社会に貢献できる大人となってホームを巣立っていきけるよう、日々子ども達と向かい合っていきたいと思えます。

ほっとけない運動

月一回行われている更生保護女性会による夕食づくり、今年度からつくば市更生保護女性会が加わりました。

(下写真)れんこんの入ったハンバーグ；職員が、子どもの弁当のおかずで困っていると相談すると、更女の方が色々なおかずのアイデアを教えてくださいました。

子どもたちだけではなく、職員にとっても、おふくろパワーは大変頼りになる大きな存在となっています。



ホームみらい 子どもの様子



H君
最近10kgほど体重が減りましたが、少しづつ元気になっていきます。底力のある彼なら大丈夫。今は存分に休養してください。



A君
先月筑西にある工場から内定をもらいました。今月はアルバイト先も決まり、誇らしげです。この調子で、高校卒業を目指しましょう。



E君
いつも元気でエネルギーシユ。自己主張のできる頑張り屋です。アルバイトが順調で4か月目に入りました。ゲーム大好きカブコンで働く夢があります。



Fさん
自分自身を内省できる力もあり現在と将来をしっかりと考えています。踏ん張り所では、高校の単位を修得し、アルバイトも以前勤めたところへ戻りました。



Gさん
くじけそうでもくじけない持続力が持ち味です。ずっと同じ仕事、お弁当屋さんを続けている彼女。厨房の仕事が向いているかも、と皆で噂しています。



Iさん
いつも勉強を楽しそうに行う彼女は、レポートを始めると、夜遅くまで集中します。熱中が見つかったら、すごい力を発揮するでしょう。

ホームえがおの家 子どもの様子



B君
つくば市の企業から、内定を頂きました。アルバイトも一生懸命しています。ほとんどフルタイムで働く彼の給与は、バイトでも12万円を超えます。



C君
一つのことには専念することが出来ます。料理人になるという夢がある彼は、先週調理師の専門学校入学が決まりました。夢に向かって突き進んでください。



D君
大学生の彼は、何事にも一生懸命に取り組みます。前期試験の成績も良かったようです。大学生活に慣れたころアルバイトをしようと考えています。



J君
通信高校では8時間のスクーリングを最後までやり遂げました。仕事も1年6か月以上続けることができます。何でもこなす器用さが持ち味です。

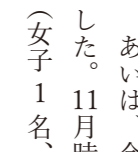
学生ボランティアの声

月に一度、子どもたちに会いに来ています。最初はコミュニケーションをどう取れば良いか迷い、戸惑うことも多かったのですが、今では、子どもたちの方から声掛けてくれることも多く、楽しい時間を過ごさせて貰っています。

私が彼らの話を聞いているというよりは、私と話（主に悩み相談）を親身に聞いて貰ってる事の方が最近多いです…(笑)

筑波大学広域BBS会 荒神佑未

ホームみらい 子どもの様子



A君
飲食店のアルバイトを掛け持ちして働いています。一生懸命働いてホームで一番貯金が溜まりました。



B君
飲食店のアルバイトをしていましたが、ポスティングのアルバイトに転職し、心機一転頑張っているところと聞いています。



Cさん
日中は高校に通いながら放課後や土日にアルバイトを頑張っています。12月には修学旅行があるので、参加できることを楽しみにしています。

郡山市社会福祉協議会様を通じて頂いたお米

ホームみらい 日々の様子



近所の病院から寄付でいただいた胡瓜です。酢の物、梅肉味噌和え、ちくわの胡瓜詰め、胡瓜の麺つゆパスタなど色々なものを作りました。



近所の病院から寄付でいただいたスイカです。スイカを食べたがっていた子が居たので、食べさせてあげられて良かったです。



あいの庭で採れたバジルで乾燥バジルを作るため、葉をとる作業を子ども達に手伝ってもらっているところです。



飲食店に勤めている子の働く姿です。元気いっぱい働いていました。

職員の紹介



ホームみらい 柿下里香
8月に入社したばかりですが、今ではすっかり子ども達とも溶け込め、毎日、元気な子ども達とワイワイ楽しく過ごしています。
楽しすぎて声が大きく「うるさい」とよく怒られています(笑)

いつも明るい柿下さんの周りには、自然と子どもたちが集まるのだ♪



ホームえがおの家 知久浩明
シオンで早くも3年目を迎えました。シオンの料理番長として子どもたちにおいしいと言ってもらえるような料理を提供するため、日々勉強しております。えがおの家の移転に伴い、高塚とともに古河市に移りますが、さらにホームを良くできるように頑張っていきたいと思っています。

料理上手な知久さんの夕食。ぼくはいつも楽しみにしてるのだ♪



ホームえがおの家 高塚耕司
日々、子どもたちの成長を楽しく見させていただいています。毎日が驚くことの連続で、勉強する事ばかりです。これからも、子どもたちの笑顔と共に彼らの成長を見守っていきます。

高塚さんは、来年えがおの家のホーム長になるのだ。「フレ、フレ、たかつか」なのだぁ♪



ホームみらい 堀金玉枝
前職は精神障害者の方々の就労支援に携わっていました。前々職は学習塾の講師をしていました。これまでの知識・経験を活かしながら、子ども達と一緒に私自身も成長していきたいと思います。

わわわっ、いっぱいスキルを持つてる!! ぼくと大違いなのだ...

